

交野市教委ニュース

第269号

令和8年9月8日

交野市×大阪大学 夏季わくわく学習ツアー きみの「やってみたい」が世界を広げる

今年度も、交野市立学校の児童生徒を対象に大阪大学での体験学習ツアーを実施しました。

DNAの複製実験やロボット製作、さまざまな言語でのコミュニケーションなど、各日とも普段できない貴重な体験と学習ができました。



8月17日（月）

わくわくサイエンス DNA実験

DNAが体をつくる設計図であること、DNAはどこにあるのかを学びました。さらにはDNAは4つの文字の並び順で生き物ごとの特徴が異なり、ヒトとチンパンジーは約99%同じであることも学びました。さらに、PCRを用いてDNAサンプルを増やす実験を行いました。

参加者からは「理科って奥深い」「あまりできない経験ができた」「DNAはヒト同士では、ほぼ変わらないことが分かった」などの感想があり、理科への興味をより深くしていました。



8月19日（水）

わくわくテクノロジー 理科実験

「見えない信号を考える」をテーマに、特斯拉コイルでの音楽演奏や電磁石で浮く電球などの実験を見せていただいたのち、ミニカーを使った実験を各自で行いました。また、大学のスーパーコンピュータを見学させていただきました。

参加者からは、「理科のおもしろさや楽しさがわかった」「磁石には電気を通すものがあると知った」「スーパーコンピュータはたくさんのすごい人を集めたような機械だと知った」など、最新の技術に驚く感想がたくさんありました。



8月24日（月）

わくわくワールド・コミュニケーション 複言語学習

大学の先生や留学生の方から、イタリア語、ラオ語、カザフ語、インドネシア語、マラヤーラム語、ビルマ語での挨拶や自己紹介の表現を教えてもらいました。各国の歴史や文化にも触れながら、コミュニケーションのよさを感じることができました。

参加者からは、「ちがう国の言葉に興味をもった」「文字から発音が推測できない」「イタリア語と英語が似ていた」などの感想があり、新たな言葉との出会いを楽しんでいました。

